

## ■Date

所在地 静岡県浜松市中区  
規模・構造 木造2階建て  
敷地面積 194.97㎡  
建築面積 63.55㎡  
延床面積 106.00㎡  
家族構成 大人5名+犬1匹(2世帯住宅)

## ■Performance

長期優良住宅  
耐震等級3(許容応力度計算)  
UA値0.44W/㎡・K  
C値0.6cm/㎡

## ■Description

本計画地は、パチンコ店やフィットネスクラブへの車が頻繁に出入りする交通量の多い住宅街の一角である。そんな中、街や暮らしに対して決して閉鎖的にならず、プライバシーに配慮しながらも100年先を見越した「ロングライフデザイン」を軸にした計画を目指した。

古美っていく素材感を大切にし、時を重ねるごとに周辺地域に馴染み、愛着をもっていつまでも残したいと思えるシンプルな住まいを心掛けた。

地元の山の木「天竜杉・桧」を構造材・造作材に100%使用。そして、遠州織物で浜松産100%の麻を使用したカーテン・暖簾など手触り感にも配慮しているのが特徴だ。

高さの変化や視線の抜け感をバランスよく取り入れ、各居室と外部、外部と地域、これらを緩やかに繋ぎ、安全・健康・快適性を担保しながらのびのびとした空間を実現させた。



天井：  
Jパネル現し・杉(天竜材)



登り梁：  
杉(天竜材)

壁：  
珪藻土クロス

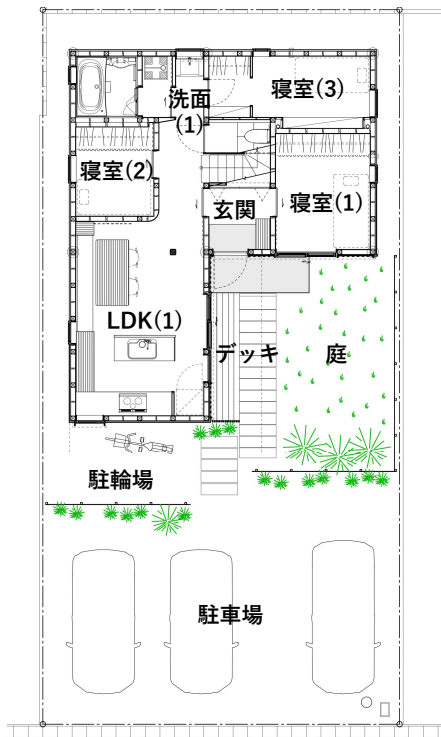
東面に位置する大開口より朝日が降り注ぎ、外部デッキ・庭と緩やかに繋がるのびのびとしたLDK空間

# 意匠性

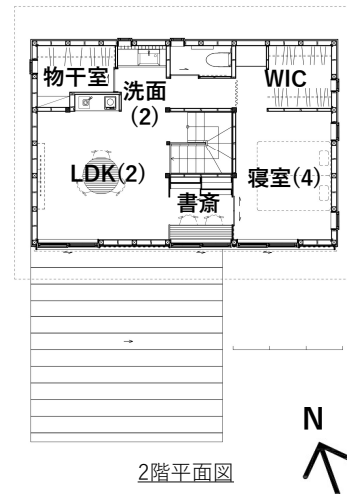
これからの時代、「ロングライフデザイン」が必要不可欠。なぜなら、「残し続ける・使い続けられる」ことが一番であると考えからだ。すなわち、それは地球環境に優しくあること、そして建築物を始めから長く使い続けられるようにすることである。この「ロングライフデザイン」には意匠・構造・耐久性など全てを含んでいる。そんな中、本物件ではその場所に自然と付き、時を重ねるごとに周辺地域に馴染み、愛着を持っていつまでも残したいと思える簡素な住まいの設計を目指した。



勾配天井はJパネルを現しとすることで木が香る心地良さを体感できる

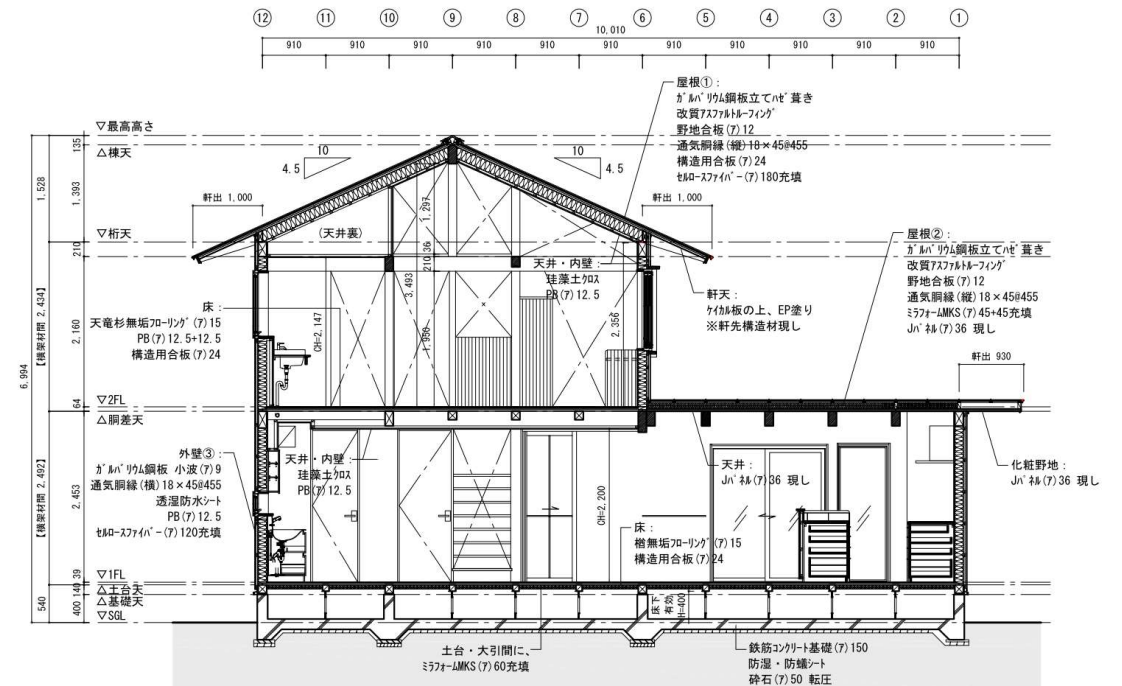


配置図兼1階平面図



2階平面図

階段を住まいの中心に据え、その周りを回遊できる動線計画。1階が親世帯、2階が子世帯、階層によるゾーニングを行っている。2階の階段上はロフト空間(2帖)となっており、平面的にも立体的にも無駄なスペースがないように配慮している。



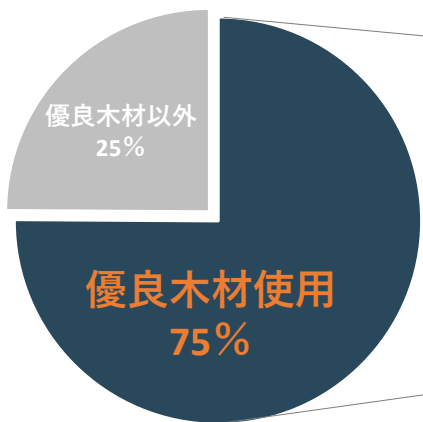
矩計図



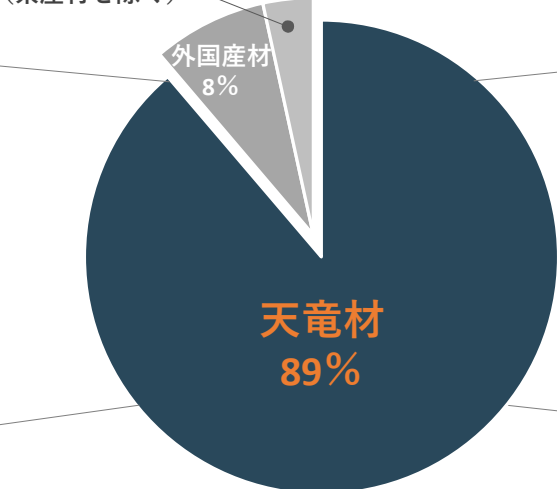
# 天竜材にこだわる

木材全体の89%に「天竜材」を使用し、そのうち「しずおか優良木材」の使用率は75%。地元の山の木をフル活用することで、地産地消を促す。日本有数の林産地である天竜ならではの家づくりを浜松では実践できるため、それを活かさない手はない。特に構造材・造作材には100%天竜材を使用することで、肌で感じ、手触りまでも楽しむことができるように配慮しているのが特徴だ。林業から繋いできたバトン(木)を大切に、ここから100年先まで紡ぐことが、私たち設計者の使命であるのかもしれない。

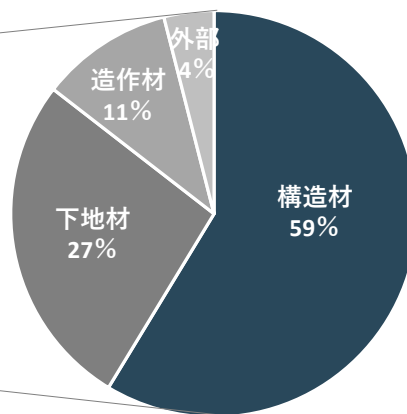
しずおか優良木材使用率  
(天竜材に占める割合)



使用木材の産地内訳  
(天竜材に占める割合)



使用箇所の内訳  
(天竜材に占める割合)

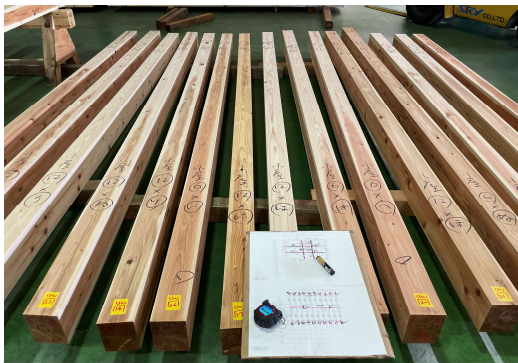


# 木配りで 品質管理を徹底

事前に製材所にて含水率・木材強度測定を実施。その後、プレカット工場でラインに流される前に「木配り」を行った。「木配り」とは、構造材1本1本の特性を把握し、適材適所で使用するために番付を行うこと。設計者として品質を管理することに徹した結果、設計図書に仕様を書き込むという作業からもっと踏み込む行為が必要であると考えた。製材所から現場まで設計者が責任を持って繋いでいく。



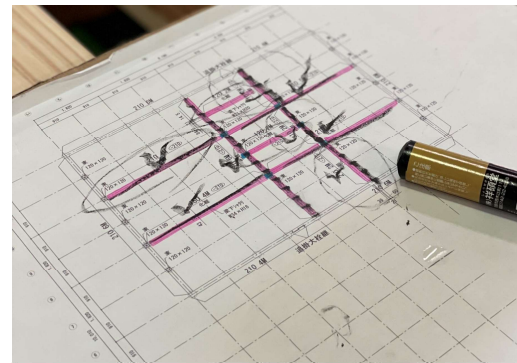
木目や節・欠点部などから1本1本の特性を把握する



元・末、腹・背など材料を整え全数チェックを行う



プレカット加工前に番付することで品質管理を徹底



漏れがないように伏図との整合性をチェックする



切妻屋根形状を見せることで空間同士に繋がりが生まれ、空調コントロールもしやすく、おおらかな空間を計画

# 断熱性

UA値  
**0.44**  
W/m<sup>2</sup>·K

C値  
**0.6**  
cm<sup>2</sup>/m<sup>2</sup>

住まいを快適に保つため、壁・天井にはセルローズファイバーを使用。吸放湿性がある断熱材は木造建築ととても相性がよい。室内は珪藻土クロス仕上げとすることで、断熱材の呼吸の妨げにならないように配慮しながらも、高断熱・高気密で健康・快適な住まいに仕上げた。



セルローズファイバー断熱材の施工状況

# 耐震性

耐震等級  
**3**

直下率  
**97.2%**



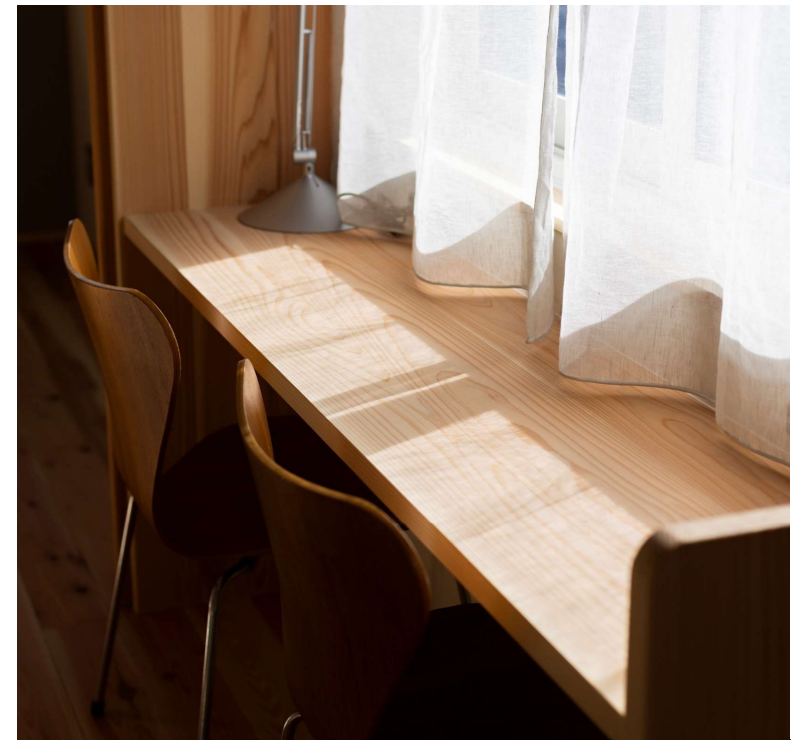
構造材現しでの使用に適した構造金物「Dボルト」



構造材は天竜の山々で育てられた杉の無垢材を使用

長期優良住宅を取得し、耐震性は許容応力度計算による「耐震等級3」を確保。計画時から柱の直下率にも配慮し、97.2%を実現している。

耐震性とは決して強いだけにとどまらず、木造建築である以上、そこには耐久性と維持管理も両立させる必要がある。ロングライフの実現にも必要不可欠な「劣化対策等級3・維持管理対策等級3」を満たすことで、耐震性がより効果を発揮する環境を整えた。構造材が現しとなる部分にはDボルト金物を使用するなど、構造面からも意匠性との両立を心掛けた。



朝日が差し込む窓際のデスクカウンターが豊かな時間を生み出してくれる